

第1 研究の基調

1 研究主題

「個に応じた指導方法に関する研究」

2 研究の趣旨

特殊教育諸学校及び小・中学校の特殊学級の現状と課題を把握し、個に応じた指導方法に関する理論的・実践的な研究を進め、特殊教育における指導の充実に資する。

3 研究主題設定の理由

全国の精神薄弱特殊学級の学級数は、昭和50年をピークに徐々に減少傾向にあり、児童生徒数も同様に減少傾向にある。そして、学級数の減少に比べて児童生徒数の減少が著しいために1学級当たりの児童生徒数が少なくなってきた。また、児童生徒の障害の状況では、心臓疾患やてんかん、情緒障害などの他の障害を併せもつ者が増えている。

また、全国の盲学校、聾学校及び養護学校の学校数は、昭和54年の義務制実施当時に比べ約130校増加しているが、児童生徒数は減少傾向にある。そして、これら特殊教育諸学校に在籍する児童生徒については、障害の重度・重複化等心身の障害の多様化が進んでいる。

このような状況を背景に、平成元年に改訂された盲学校、聾学校及び養護学校の小学部・中学部・高等部の学習指導要領では、「児童生徒の心身の障害の状態に応じた指導の一層の充実を図ること」が、4つの改訂の基本方針の1つとして掲げられた。すなわち、児童生徒の障害の種類と程度に応じた教育の一層の充実を図っていくことの必要性が強調された。そして、そのために第1章総則の第2節第6「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」の中では、「個に応じた指導など指導方法の工夫改善に努めること」とし、その際は「児童又は生徒の心身の障害の状態や学習の進度等を考慮して、個別指導を重視するとともに、必要に応じて授業形態や集団の構成を工夫し、学習活動が効果的に行われるようすること」と示された。

一方、保護者においても障害等のある児童生徒数の減少や障害の多様化に伴い、これまで以上に個に応じた指導に対する期待が高まっている。

さらに、特殊教育諸学校及び特殊学級に次ぐ教育の形態である「通級による指導」や学習障害（LD）等の指導など、より一人一人に応じた教育、言い換えれば障害等の状態などに十分配慮し、一人一人を大切にした教育を行う必要性に迫られている。

このような中で、一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばし、社会的な自立を可能な限り実現していくために、その障害の種類や程度等に応じて指導内容や方法を個別化するための在り方を探求することは、重要な意義があり急務であると言える。

そこで、本研修センターでは以上のようなことをふまえて、研究主題を「個に応じた指導方法に関する研究」として、個別指導計画のモデルの作成を中心に研究に取り組むことにした。

4 研究期間

平成7年度から平成8年度までの2か年

5 研究方法

- (1) 実態調査及び理論・実践研究を行い、個に応じた指導の在り方を究明する。
- (2) 研究協力員（18人）を委嘱し、研究協議会を開催して研究を進める。

ア 研究協力員の構成

グループ	特 殘 学 級			特 殘 教 育 諸 学 校			
	精神 薄弱	難聴・言語 障害	情緒 障害	盲	聾	精神 薄弱	肢体不自由 病弱
人 数	4	2	2	2	2	4	2

6 研究内容

(1) 実態調査

個に応じた指導方法についての現状や問題点、課題等について調査を行い、その望ましい在り方を探る。

(2) 理論研究

ア 欧米の個別教育計画（I E P）の概要について

イ 国内の個に応じた指導方法の先行研究について

(3) 実践研究

ア 校種・障害種に応じた個別指導計画のモデルを作成する。

イ 校種・障害種別に指導事例を選び、個別指導計画をモデルに基づいて作成し、モデルの検討・改善を行う。

7 研究経過

研究協議会の期日及び内容は次のとおりである。

年度	回	期 日	協 議 内 容
平成七年度	1	平成7年 6月20日	・筑波大学教授瀬尾政雄先生の講義「個別教育計画（I E P）に基づく指導」によって、アメリカやカナダ、イギリスなどの個別教育計画の概要やその実際について研究を深める。 ・研究の進め方について検討するとともに個に応じた指導方法の実態及び問題点について協議をする。

年度	回	期　日	協　議　内　容
平成七年度	2	7月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・実態調査の調査内容の構造、調査対象、手続きなどについて検討する。 ・4つのグループを編成し、質問項目を分担作成する。
	3	10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・「個に応じた指導に関する調査」の結果集計及び考察について、校種・障害種を考慮した4つのグループで行う。 ・研究報告書の内容を検討する。
	4	11月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・「個に応じた指導に関する調査」の考察を全体で行う。 ・個別指導計画のモデルを作成するに当たって、その基本方針を検討する。
	5	平成8年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導計画のモデルを校種・障害種を考慮した4つのグループで作成する。 ・次年度の研究の進め方について検討する。

年度	回	期　日	協　議　内　容
平成八年度	1	平成8年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の研究の進め方及び研究報告書の内容を検討する。 ・4つのグループによる個別指導計画のモデルの作成及び事例研究の計画立案を行う。
	2	7月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導計画のモデルの作成を4つのグループで行う。
	3	10月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導計画のモデルの最終検討をグループ及び全体で行う。 ・実践事例の検討をグループで行う。
	4	11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・研究のまとめと今後の課題について検討する。 ・研究報告書の様式について検討する。